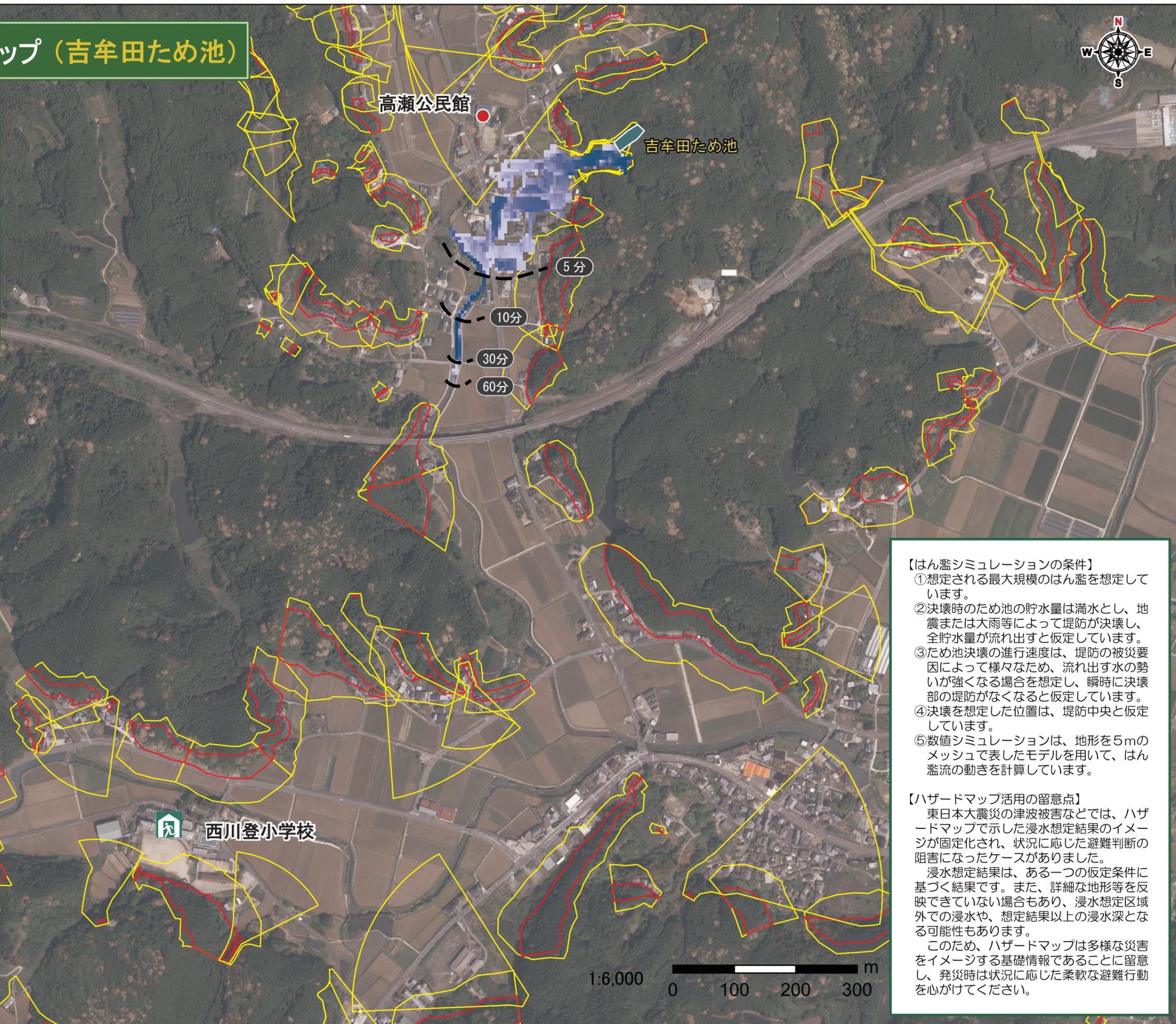


武雄市ため池ハザードマップ（吉牟田ため池）



凡例

- 指定緊急避難場所**
災害の危険から一時的に逃れるための施設
- 指定避難所**
避難生活を送るための施設
- 福祉避難所**
高齢者や障がい者などの要配慮者の方を受け入れるための避難所（※状況に応じて開設します）
- 地域避難所**
- 対象ため池**
- はん濫水の到達時間**
- 土砂災害特別警戒区域**
- 土砂災害警戒区域**



浸水の深さ

3m以上の浸水	2階以上が浸水する程度
1.0～3.0mまでの浸水	
0.5～1.0mまでの浸水	1階の軒下まで浸水する程度
0.5m未満の浸水	床上浸水 床下浸水

【はん濫シミュレーションの条件】

- ①想定される最大規模のはん濫を想定しています。
- ②決壊時のため池の貯水量は満水とし、地震または大雨等によって堤防が決壊し、全貯水量が流れ出すと仮定しています。
- ③ため池決壊の進行速度は、堤防の被災要因によって様々なため、流れ出す水の勢いが強くなる場合を想定し、瞬時に決壊部の堤防がなくなると仮定しています。
- ④決壊を想定した位置は、堤防中央と仮定しています。
- ⑤数値シミュレーションは、地形を5mのメッシュで表したモデルを用いて、はん濫流の動きを計算しています。

【ハザードマップ活用の留意点】

東日本大震災の津波被害などでは、ハザードマップで示した浸水想定結果のイメージが固定化され、状況に応じた避難判断の阻害になったケースがありました。

浸水想定結果は、ある一つの仮定条件に基づく結果です。また、詳細な地形等を反映できていない場合もあり、浸水想定区域外での浸水や、想定結果以上の浸水深となる可能性もあります。

このため、ハザードマップは多様な災害をイメージする基礎情報であることに留意し、発災時は状況に応じた柔軟な避難行動を心がけてください。

